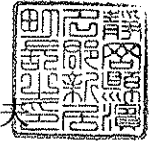




新都第 34 号
平成 19 年 4 月 27 日

国土交通省道路局長
宮田年耕殿

新居町長 中嶋正夫



道路整備の中期計画に関する意見書

新居町では、コミュニティー相互の交流を促進し、地域の発展を図るため、道路の整備を中心に、各種活性化施策を展開しているところです。

当町の中心部を通過する国道 301 号には、町の象徴である「関所」があり、その周辺では、文化的な環境づくりとして歴史的な町並み景観を生かし、安心して歩けるまちづくりを進めるよう、国道の歩道新設や周辺町道の整備をすすめる予定です。また、国道 301 号は、大型トラック等が多く通る幹線道路であり、騒音、振動はもとより朝夕の交通渋滞に悩まされているため、代替路線となる国道 301 号バイパスの早期実現を強く要望します。

道路の整備には長期的観点に立っての計画と膨大な費用を必要とするほか、当町の財政力も非常に厳しい状況にあり、安定的な道路財源の確保が必要不可欠なため、国におかれては、道路整備の重要性を深く認識され、以下の道路計画に特段の配慮をお願いします。

記

- 1 まちの魅力の向上や安全安心のための整備計画
 - ・新居関所文化財保存整備事業の大御門復元に連携した道路整備
国道 301 号の歩道新設並びに無電柱化
町道中之郷本線道路整備
 - ・町道浜名線道路整備
- 2 まちの発展や道路の利便性を向上させる整備計画
 - ・国道 1 号浜名バイパス新居弁天 IC フル IC 化
 - ・浜名バイパスまでアクセスとなる都市計画道路松山弁天線の整備
 - ・国道 301 号のバイパスとなる、都市計画道路松山茶屋松線の整備